

# 斑鳩町ゼロ・ウェイスト宣言

## 1. 斑鳩まほろば宣言

「斑鳩」からはじめる、ひろげる、そして未来へつなぐ。

聖徳太子ゆかりのまち、世界最古の木造建築物「法隆寺」のあるまち「斑鳩」から、限りある資源を大切に暮らす、「もったいないの心」を全世界に発信することにより、焼却処分に軸足を置くごみ政策の抜本的転換を促します。

脱焼却、脱埋立てを町の決意宣言として、広く町内外に公表、周知することは、現在、他の様々な地域でごみ・資源物の処理を行う、焼却施設を持たない町の責務であります。

斑鳩町は、現在（いま）を大切にしながら、次世代を担うこどもたちのため、そして未来の地球環境、未来の「斑鳩」のため、脱焼却・脱埋立てをめざすことをここに決意し、「斑鳩まほろば宣言」を行います。

(1) 私たち「斑鳩」は、世界文化遺産のあるまちの責務として、限りある資源を大切に暮らすを次の世代に引き継ぎます。

(2) 私たち「斑鳩」は、ごみは資源として活用することに最大限努力し、平成39年度（2027年度）までにごみを燃やさない、埋め立てない町をめざします。

(3) 私たち「斑鳩」は、聖徳太子の「和」の精神を尊び、同じ志を持つ世界中の人々と手をつなぎ、ゼロ・ウェイストの輪をひろげます。

## 2. 斑鳩まほろば行動宣言

- (1) 次世代を担う子どもたちへの教育の充実  
次世代を担う子どもたちが限りある資源を大切にする「もったいないの心」を育む教育を充実させます。
- (2) 2Rの推進によるごみを発生させない仕組みづくり  
2R（リデュース<ごみを出さない・発生抑制>、リユース<繰り返し使う・再使用>）を推進し、ごみを発生させない仕組みづくりに努めます。
- (3) 生ごみ全量資源化及び新たな資源化の推進  
生ごみ全量資源化に向けた取り組みを推進し、紙おむつの資源化など新たな取り組みの実現に向けて最大限の努力をします。
- (4) ごみ処理費用の削減  
収集体制や処理方法の見直しにより、ごみ処理経費のさらなる削減に努めます。
- (5) 町ぐるみによる取り組みの推進  
ごみを燃やさない、埋め立てないまち「ゼロ・ウェイスト」の実現のため、住民、事業者、行政が一体となった取り組みを推進します。  
また、関心の低い人などへの周知啓発を行い、意識の向上を図ります。  
さらに、高齢者や子育て世帯などにも配慮した取り組みを推進します。
- (6) ごみの発生抑制やポイ捨て、不法投棄の防止につながる法制度の整備などに向けた働きかけの推進  
拡大生産者責任の徹底や容器包装のデポジット制度導入など、ごみの発生抑制やポイ捨て、不法投棄の防止につながる法制度の整備や取り組みの推進を国・関係機関、事業者などに働きかけます。
- (7) ゼロ・ウェイストの輪をひろげる取り組みの推進  
ごみを燃やさない、埋め立てないまち「ゼロ・ウェイスト」の輪を、県内外の他自治体にひろげるとともに、観光客へのPR、発信などにより、多くの人に「ゼロ・ウェイスト」の考え方を周知し、ひろげます。

平成29年5月8日 制定